

片塩振興協議会・片塩まちづくり株式会社 会社が両輪となって「お年寄りに優しく、 元気になる商店街」創りを推進

片塩まちづくり株式会社
代表取締役 酒本 昌彦



取り組みに至った背景

奈良県大和高田市にある「片塩商店街」は、大阪（阿倍野橋）と奈良県南部吉野方面を結ぶ近鉄南大阪線・高田市駅前位置します。1929年（昭和4年）に大阪鉄道・高田町駅が開業したのに伴い商店街が構成されはじめ、1945年頃には大まかな形が出来上がりました。昭和30年代には片塩駅前商店街や片塩遊通り商店街にアーケードが整備されたこともあり、近隣市町村や吉野方面からの買い物客で賑わいました。その後、1972年（昭和47年）にはスーパー・イズミヤが出店し、更には、1976年（昭和51年）にスーパー・ニチイ（サテイ）の大型店が進出し、片塩商店街近郊は商業地として賑わいある街へと発展しました。しかし、永



高田市駅前商店街 駅前入口

年、片塩商店街と協働関係にあったその大型スーパー2社が撤退した後は、商店街の通行量は徐々に減少し、個人店舗の閉店が余儀なく進んだため、当然のごとく商店街はシャッター通りとして斜陽化が進みました。

この状況を食い止めるため、2013年、当時の大和高田商工会議所の会頭がサテイの跡地を買い取り、中型の食品・日用雑貨中心のスーパーを出店されました。同時に、銀行や市役所の文化センターがオープンし、駐車場も完備させて商店街を再活性化する諸条件を整えて下さいました。また、商店街の再構築に何が必要かの課題に対しては、片塩振興協議会が取り組みました。

ただ一方で、近隣の市には大型総合スーパー「イオン・アル」が進出し、連日大



高田の星(商工会議所青年部運営)

勢の買い物客で賑わっていたことから、この大型スーパーと同じ商品構成で対抗しても品揃えや価格・雰囲気では勝てることがないと判断。これ以外の理美容・食堂・喫茶・整体指圧・針治療・学習塾・地場産のお菓子類の製造販売等を主としたサービス業の分野で、「イオン・アル」に対抗することにしました。

しかし、この大型スーパーを良く観察しますと高齢者の姿は見つからず、中年以下の家族連れが圧倒的に多く、商品構成も高齢者向きの商品が少ないことから、いよいよ高齢者の居場所がないことに気付きました。

取り組みの内容

商店街にこれ以上空店舗が増えて、商店街にある自分達が所有している土地の価格が下がらないようにするため、「片塩まちづくり株式会社」を創りました。家賃については、最初は安くても空き店舗を積極的に貸出し、そして状況変化（改善）が進めば家賃を改定する方法で空き店舗を減らしていきました。また、高齢者が歩く事によって健康を

更に、片塩まちづくり株式会社が健康管理と文化教室を兼ねた「片塩わかがりーな」を設立。高齢者が身体面からも文化面



いきいき体操



片塩わかがりーな

維持できる「歩く街」を宣言して片塩を
目指して歩く、更には、片塩の街の中を
何回も歩く事で高齢者にとって健康づく
りができる街へと育てていきました。そ
の間、藤棚小公園内をはじめ、商店街内
に休憩ベンチを数十か所設置。高齢者が
日々の休憩場所として利用することで、
コミュニティの活性化が図られ、賑わい
の創出に寄与しています。

片塩振興協議会は年2回、春と秋の「おかげ祭り」を実施しています。片塩の街の繁栄は、皆様に年中「ひいき」にして頂いている「おかげ」であると感謝を込めたお祭りで、2日間に渡って開催しています。感謝の気持ちを通じたのか毎回来場者が増えて歩けない位に賑わっています。その他、商店街の年中行事としてプロによる「片塩寄席」を年3回、大相撲春場所期間中に「鍛山部屋」による「ちゃんこ鍋」の会、小学生の願いを

取り組みの成果と実施体制

になり健康になること
で、社会に
奉仕してい
ることへの
喜びを感じ
てもらいな
がら、毎日
をすごして
頂いており
ます。同施
設では、
スポーツ
教室として「いきいき体操」「ヨガ」「フオークダンス」などを、また、文化教室として「うたごえ教室」「読書会」などを、多岐にわたり日替わりで開講しています。



うたごえ教室

短冊につるす「片塩七夕祭り」、子供たちの健康を祈念する「おかげ地藏祭り」等の行事を行っています。一方、片塩まちづくり株式会社は、空き店舗を減少させる活動に取り組みとともに、前述した「片塩わかがりーな」で、主に高齢者の方に対して「心と体」を鍛える役目を果たしています。

このように、片塩振興協議会はソフト面を担当、片塩まちづくり株式会社はハード面を担当し、それぞれが両輪となつて、片塩商店街のまちづくり活動を推進し、一定の成果を挙げています。



かたしお遊とおり「水曜楽の市」風景



かたしお遊とおり
藤棚小公園（買い物休憩ベンチ）